

令和5年度 後期教育アンケート結果のご報告

令和5年3月
京都市立宇多野小学校
校長 川合 まどか

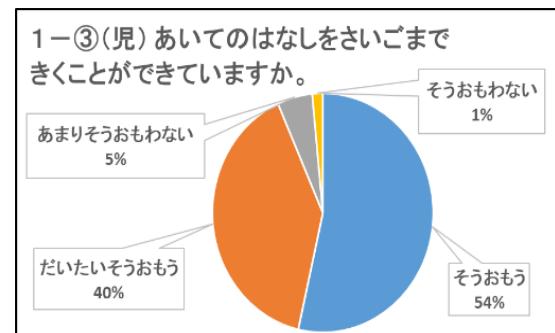
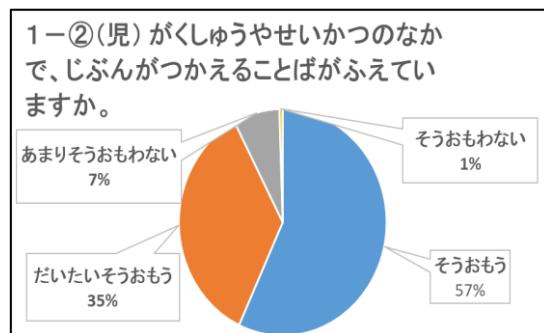
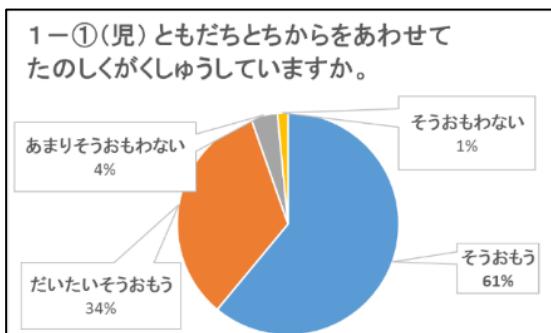
後期教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。それらの結果を報告させていただきます。回答総数は239件で約54%の保護者の方がご協力くださいました。成果が感じられる後期のよかったです項目と、前期と比べて改善すべき項目について重点的に報告させていただきます。最終ページには全てのアンケート結果を掲載しております。

今後も教育アンケート結果をもとに、よりよい教育を目指していきたいと考えています。そのために、保護者の方のアンケートの回答が大切になってまいります。本校では、保護者の回答率100%を目指しております。ご協力をよろしくお願ひいたします。

1. 「確かな学力」の育成に向けて

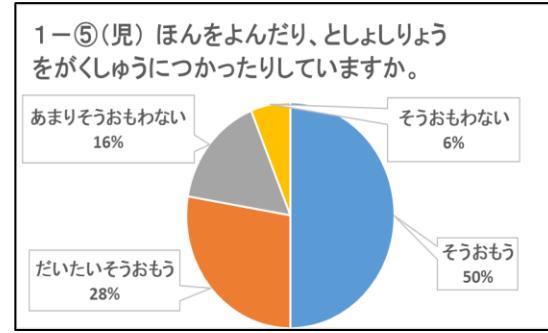
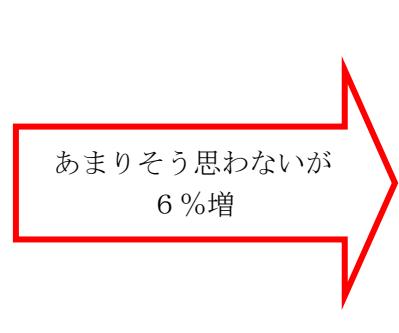
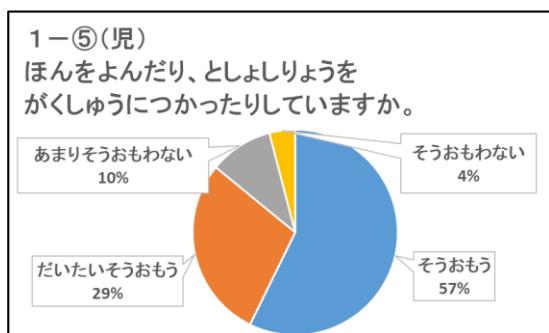
重点目標 学ぼうとする意欲や学びを友だちと共有する力を身につけさせ、学力向上につなげる。

児童



成果

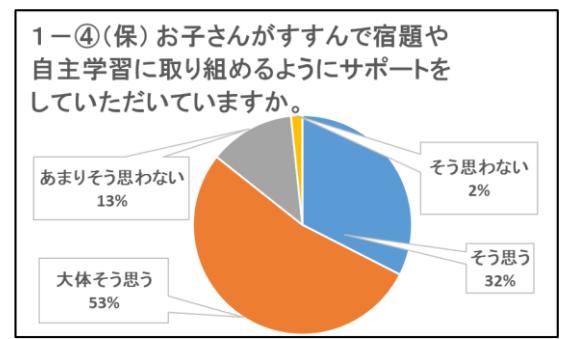
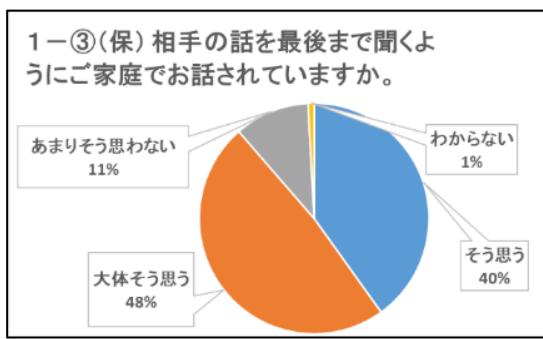
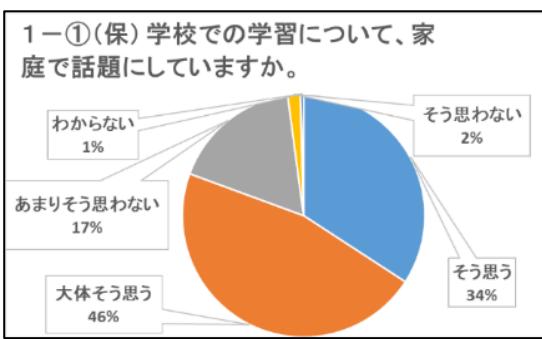
後期も全体として、子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいることがわかります。①の「友達と力を合わせて楽しく学習していますか」では、95%の児童が肯定的に答えています。GIGA端末を使って、友達と自分の考えを交流し合う学習を積み重ねてきたことで、自分の考えが伝わった喜びや友達の考えを聞いて新しい考えが生まれる楽しさなどを感じることができたからだと考えます。また、②の「学習や生活の中で自分が使える言葉が増えていますか」と、③の「相手の話を最後まで聞くことができていますか」については、92%、94%の児童が肯定的に答えています。これは、授業やことばみがきタイムなどで児童の語彙力を高める取組を続けてきたことや、友達と考えを共有する活動に取り組んできたことの成果といえます。しかし、まだ自分の思いを言葉で十分に伝えることができていない児童もいます。今後も自分の思いを言葉で表現できるような働きかけを続けていきたいと思います。



改善点

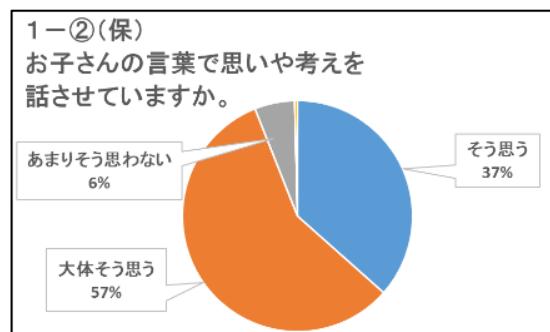
⑤の「本を読んだり、図書資料を学習に使ったりしていますか」については、あまりそう思わないの割合が前期に比べて6%増えました。学校図書館には、毎日多くの児童が訪れて読書に親しんでいます。本の貸出冊数も大きく変化はありません。また、学校の授業では、国語科の学習をはじめ、社会科や総合的な学習の時間など、図書資料を使う学習に取り組んでいます。しかし、タブレット端末を使う時間の方が長いこともあるため、児童の実感として図書資料を使っていると意識していないのではないかと考えます。タブレット端末と図書資料を両方使える児童を育てる中で、図書資料を使った学習を計画していきたいと考えます。

保護者

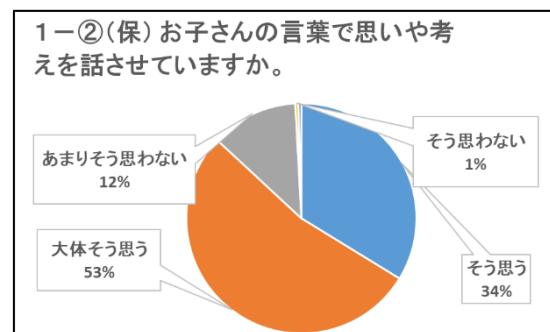


成果

後期も、多くの保護者の方々に、子どもたちの学習を見守っていただいていることがわかります。①の「学校での学習について家庭で話題にしていますか」では、80%のご家庭が話題にしています。また、④の「お子さんがすすんで宿題や自主学習に取り組めるようにサポートをしていただいているか」では、85%のご家庭にご協力いただけていることがわかります。今年度の本校の研究テーマの一つである「授業と家庭学習の連動」には、ご家庭の協力が欠かせません。例をあげますと1年生の生活科の学習「にこにこ大作戦」では、家族がにこにこするために自分ができることをしようということで、おうちでのお手伝いの様子をタブレットに撮っていました。お忙しい中で、このように子どもたちの学習を支えていただいていることに改めて感謝申し上げます。子どもたちにとっておうちの方々のお声かけは学習意欲を高める原動力と考えています。引き続きご協力のほどよろしくお願ひいたします。



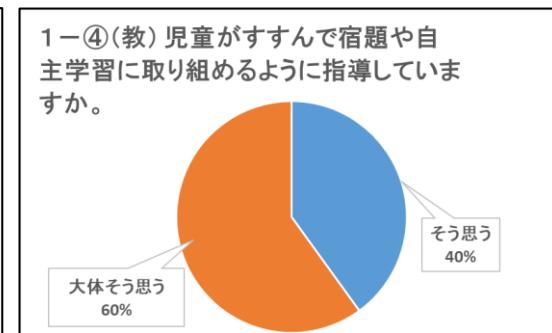
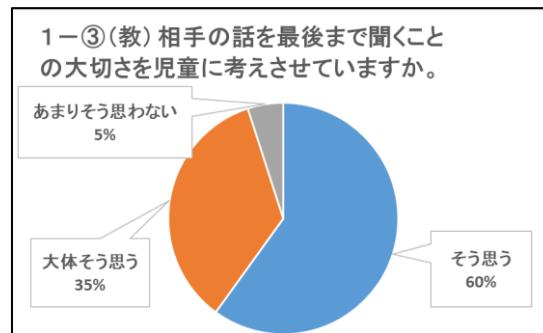
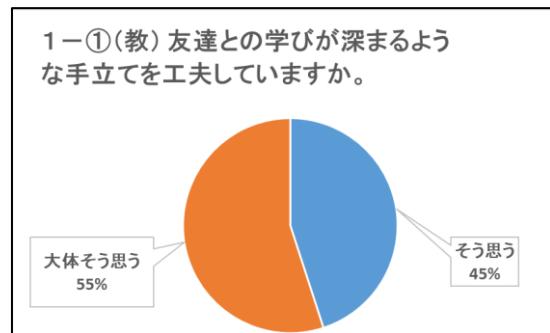
あまりそう思わないが6%増



改善点

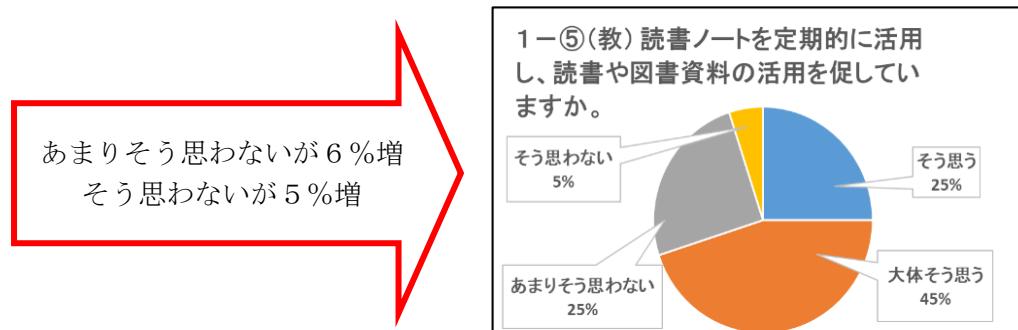
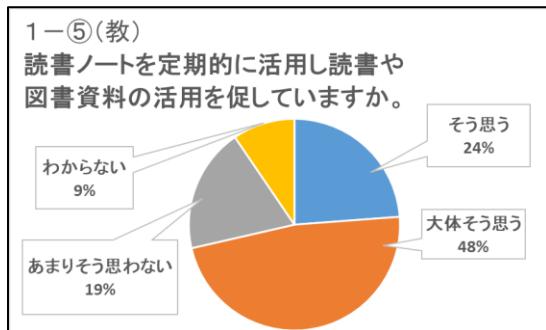
②の「お子さんの言葉で思いや考えを話させていますか」は、「あまりそう思わない」の割合が6%増えています。毎日の生活中で、ゆっくりとお子さんの話を聞く時間を取りることは難しいかもしれません。また、子どもによっては、すらすらと言葉が出にくく、話が続かないことや、思春期に入るお子さんとの会話は難しいこともあるかもしれません。しかし、子どもが安心して自分の思いを伝えられる経験をご家族で積み重ねていくことで、ご家族がしっかり自分の話を聞いてくれるという安心感をもち、学校でも教職員や友達とのよりよい交流につながると考えます。ぜひ、お時間を見つけていただき、お子さんと一緒にいろいろな話をしていただければありがたいと思います。

教職員



成果

後期も、児童が意欲的に学習できるように取り組んでまいりました。①の「友達との学びが深まるような手立てを工夫していますか」や④の「児童がすすんで宿題や自主学習に取り組めるように指導していますか」については、今年度、重点的に取り組んできました。「授業と家庭学習の連動」ということで、授業に意欲的に取り組めるようにするための準備としての家庭学習は、どのようなことができるかと考えてきました。例を挙げますと、次の授業のめあてをじっくりと考えたり、グループで意見交流をするための調べ学習を家でしてたりすることなどです。従来の宿題の概念に捉われるのではなく、より学習が深まるあり方について、今後も研究を深めていきたいと考えます。



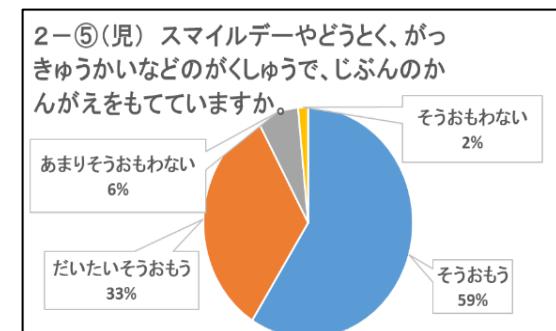
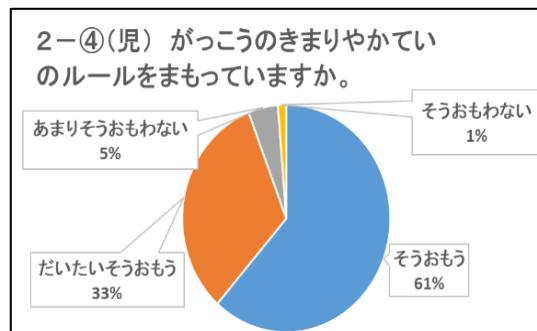
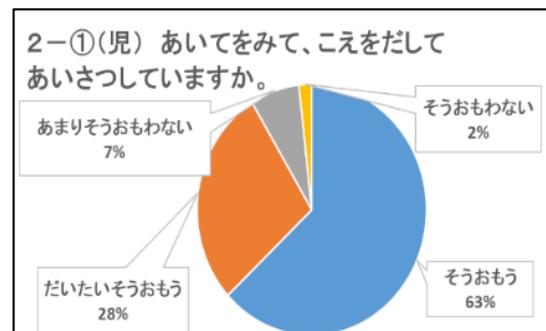
改善点

⑤の「読書ノートを定期的に活用し読書や図書資料の活用を促していますか」については、改善していくべきところが見受けられます。学校の授業では、国語科の学習をはじめ、社会科や総合的な学習の時間など、図書資料を使う学習に取り組んでいるとはいうものの、教職員自身が十分に図書資料を活用できていないところがあらわれています。今後も、学校司書と連携し、意図的に図書資料を使った学習を計画していきたいと考えます。また、読書ノートの効果的な活用方法についても教職員で研修をしたり実践を重ねたりすることで、改善を図っていきます。

2. 「豊かな心」の育成に向けて

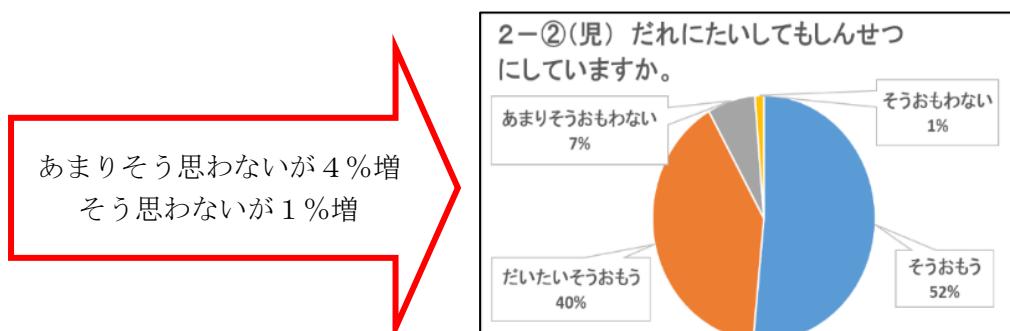
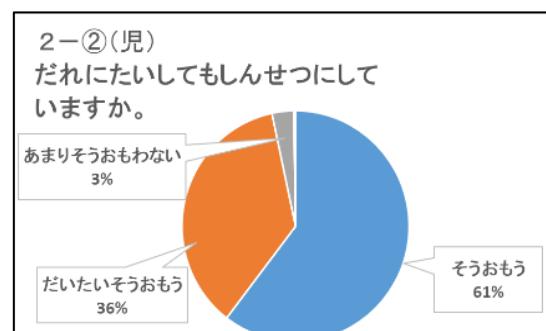
重点目標 規範意識の育成や道徳教育の充実を図り、支え合い高め合う集団をつくる。

児童



成果

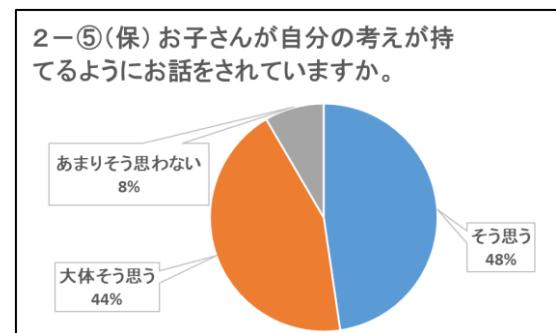
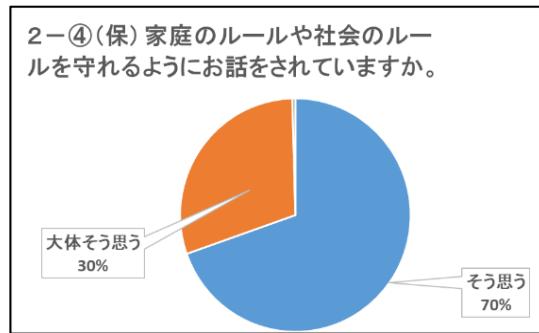
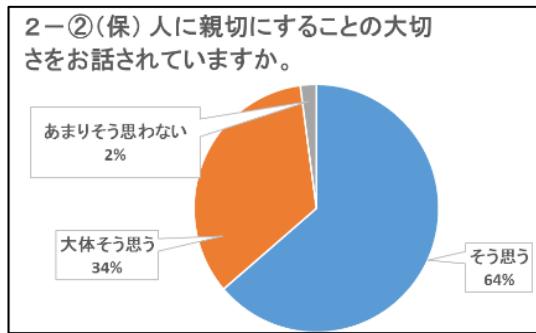
後期も児童の規範意識は高い結果となりました。子どもたちは、学校のきまりや家庭のルールを守らないといけないという意識をもち、日々生活をしていることがわかります。今後は、ただルールを守るだけでなく、なぜ守らなければならないのかということや、よりよいルールについて自分たちで考えられるようになってほしいと思います。また、あいさつについては、地域の方々から、「昔に比べてずいぶんとあいさつができるようになった」や「気持ちのよいあいさつを返してくれることがうれしい」というお声をいただいている。これまでの地道な指導や児童会によるあいさつ運動などが活きてきたのだと考えます。今後も続けていけるように声掛けを続けていきます。



改善点

②の「誰に対しても親切にしていますか」ということについて、あまりそう思わない、そう思わない児童が数%おり、心配しています。特に、前期では無かった、そうおもないと感じている児童がいることについて憂慮しています。子どもたちも日常生活の中でいろいろなことを経験しています。その中で、意に沿わないこともあるかもしれません。それをどう乗り越えていくか、折り合いをつけていくかということは、集団生活や社会生活をすごす上で、とても重要です。学校でもそういったことを伝えていくと同時に、子どもの困りや悩みに寄り添っていきたいと考えます。

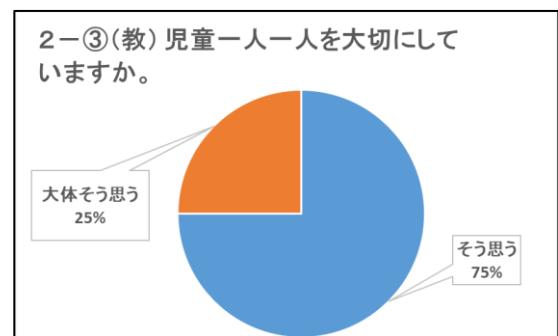
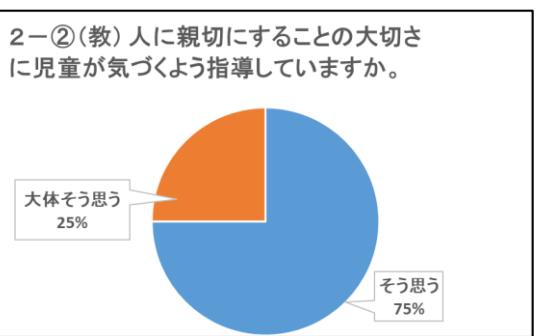
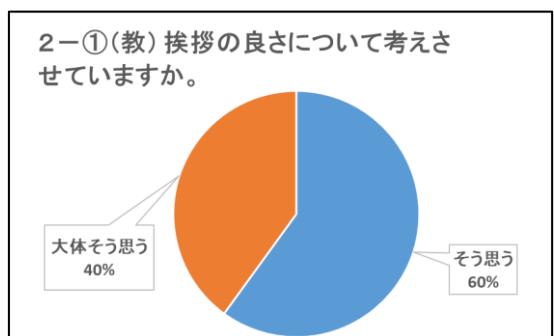
保護者



成果

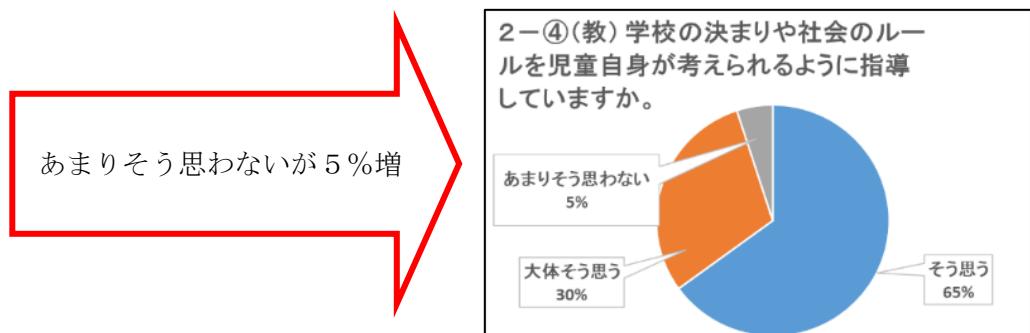
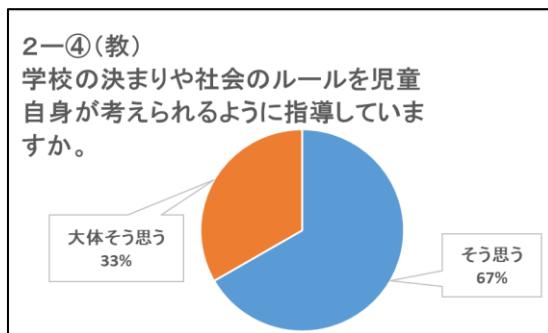
保護者の方が生活の中で規範意識や友達への思いやりの大切さを教えてくださっていることがうかがえます。挨拶をすることやルールを守ることなど、社会生活を送る上で大切なことについて、おうちでもしっかりとお話をさせていただいていることに改めて感謝いたします。子どもが小学生の間に十分子どもに関わっていただきたいと思っています。今後もお忙しい中ですが、お子さんのためにできるだけ時間をとり、会話を大切にしていただきますとありがとうございます。

教職員



成果

職員は、児童一人一人を大切にしながら、日々指導しています。特に、あいさつをすることや友達を大切にすることについては、これまでから、地道に指導を続けてまいりました。あいさつについては、子どもたちが随分できるようになったと地域の方々からほめていただけるようになりました。人に親切にすることについては、教職員の思いと児童の実感との間に差があるところはありますが、多くの児童は人に親切にすることは大切だと感じ行動していると考えます。そういう児童がもっと増えるように取組を続けていきたいと考えます。

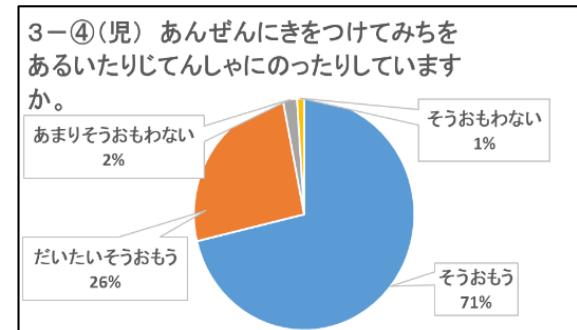
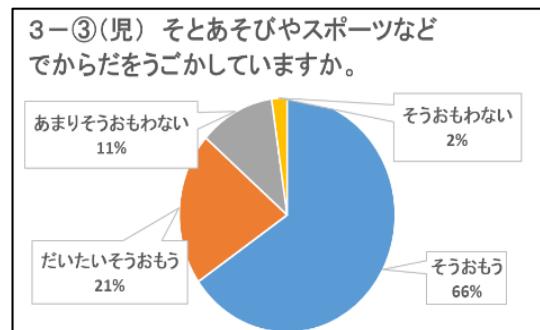
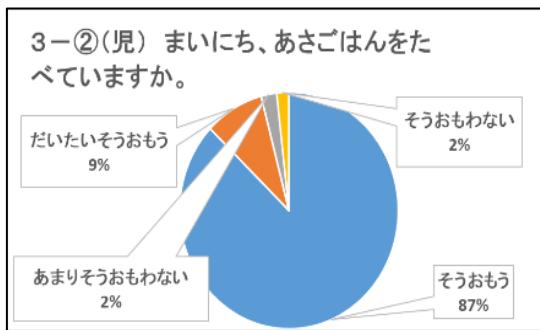


改善点

「学校の決まりや社会のルールを児童自身が考えられるように指導していますか」というところでは、そう言い切れないないところがあることがわかります。引き続き、ルールを守ることを「教える」「指示」の段階から一歩進み、子ども自身に「気づかせる」「考えさせる」指導ができるように、教職員自身も学んでいきたいと思います。また、子どもに役割や責任を持たせ、自分だけでなく周囲のために頑張ることができる児童を増やし、自己有用感を高める取り組みも意図的におこなっていきたいと考えています。

3. 「健やかな体」の育成に向けて

重点目標 運動の実践と体力の向上を図りながら、安全で健康的な生活を送る子を育成する。

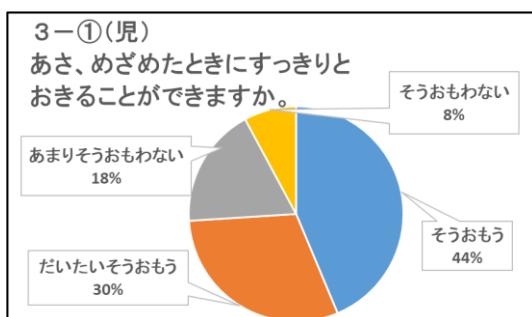


成果

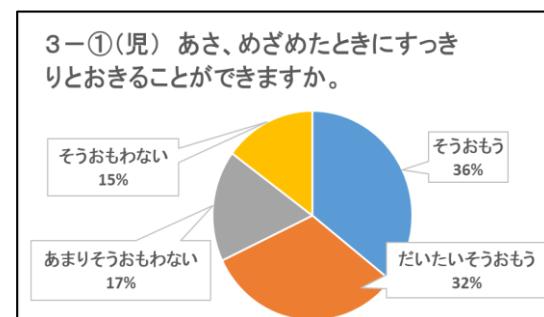
後期も、ほとんどの児童がきちんと朝ごはんを食べて登校し、健康的に生活できています。朝ごはんを食べることで、頭も体も調子がよくなり、活動できることは保健だよりや給食だよりなどで児童に指導しています。高学年になれば、家庭科の学習でも朝食を自分たちでつくれるように献立を考える学習もあります。そのようにして自分で自分の朝食を考えることができるようになることも大切です。また、④の安全に気をつけて道を歩いたり自転車にのったりしていますかという項目についても、ほとんどの児童が安全に気をつけて歩いたり自転車にのったりしていることがわかります。しかし、時々、危ない自転車の乗り方をしたり、道に広がって歩いたりしている姿を見かけたり、聞いたりすることがあります。引き続き、安全に気をつけて行動することを指導していきます。ご家庭でも十分教えていただきますようにお願いします。



総合パトロール出発式



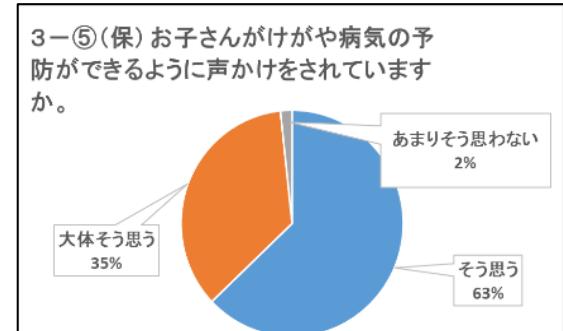
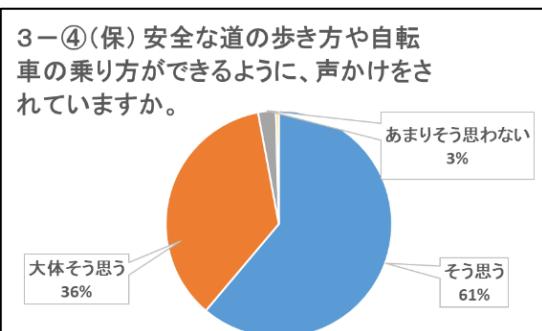
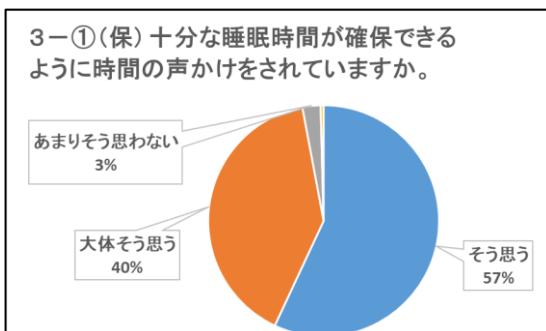
そう思うが8%減
そう思わないが7%増



改善点

後期になっても、朝、すっきりと目覚められない児童が約30%います。「そう思う」が8%減り、「そう思わない」が7%増えています。前期よりも生活リズムが乱れていると感じている児童が増えています。これは、寝る時刻が遅くて睡眠時間が短かったり、就寝前にゲームをしたりスマホやテレビ等を見たりして睡眠の質が下がったりしていることが考えられます。朝すっきり目覚められるように、時間を決めて、ゲームをしたりスマホやテレビを見たりすることを心掛けてほしいと思います。学校でも指導していますが、おうちの方でも引き続き声かけのほどよろしくお願ひいたします。

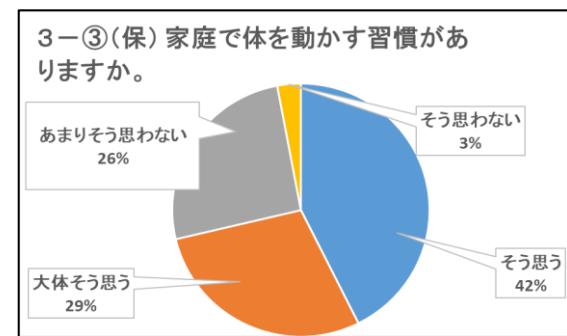
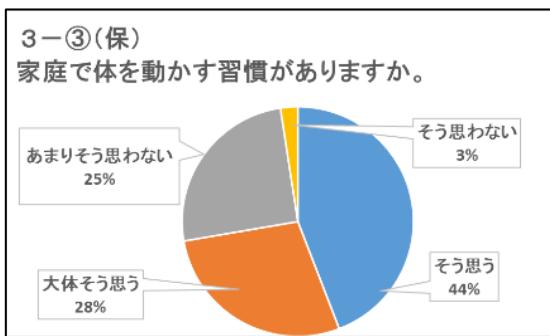
保護者



成果

ほぼ全員の保護者の方々が、お子さんが健康的な生活を送ることができるように働きかけてくださっていることがうかがえます。子どもたちが安全で健やかに過ごすことができるよう、家庭で取り組んでいただき、ありがとうございます。

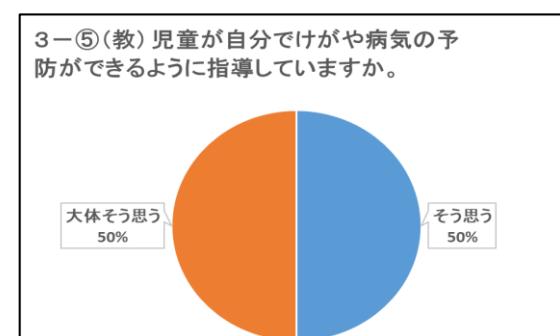
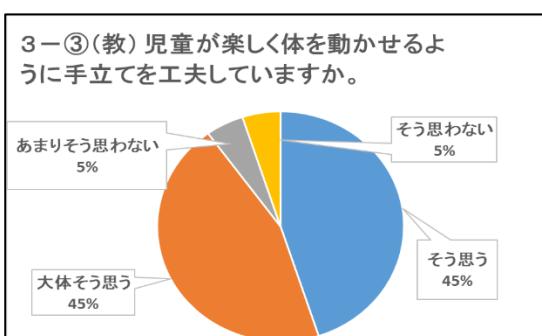
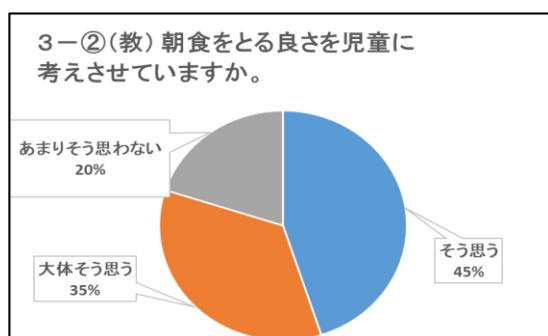
学校と家庭とが連携して、子どもたちに働きかけていくことで、子どもたちも自分の生活は自分でよりよいものにしていこうとする意識が育っていくことを願っています。引き続きご協力のほどお願いいたします。



改善点

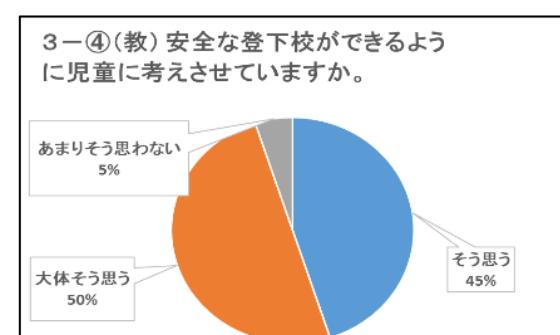
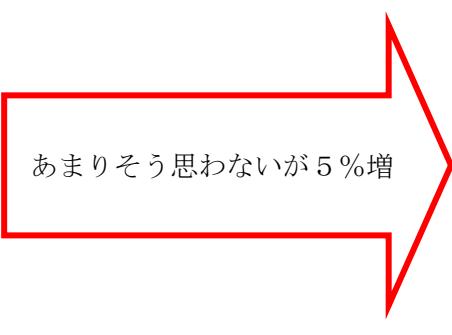
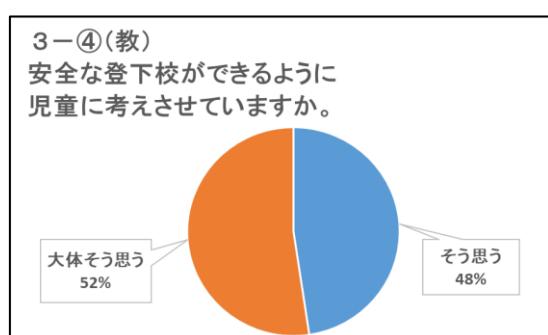
家庭で体を動かす習慣については、前期と後期とでは、あまり変化がありませんでした。忙しい日々の中では中々体を動かす時間がとれないということもあるかもしれません。ですが、体を動かすことは児童の健全な成長には欠かせません。少しずつ、身近なことから取り組んでいっていただければと思います。体育科の学習で体ほぐしの運動として、いろいろな遊びやストレッチなどを学習しました。それをお子さんにたずねていただき、一緒にやってみられてはいかがでしょうか。

教職員



成果

教職員も、児童が安全で健康的な生活を送ることができるよう、学活や保健指導の中で働きかけています。児童同士で考えるため保健委員会でも取り組んでいます。また、朝食や睡眠をしっかりとる良さを考えさせることについては、食の指導や生活点検表などの取組を通して指導してきましたが、まだまだ課題があります。引き続き子どもたちが自分で考える機会をつくり、よりよい生活習慣を身に着けられるように、ご家庭と連携しながら取り組んでいきます。



改善点

朝の登校指導をはじめ、安全な道の歩き方や安全な自転車の乗り方についても引き続き指導を続けています。安全ノートを使った指導や日々、話をしたり、通学路に立って指導したりするなど、いろいろな形で子どもたちに伝えています。しかし、「児童に考えさせる」ということについては、まだ改善の余地があるかと思います。引き続き、子どもたちが自分で考える機会をつくり、自ら安全に気をつけながら行動できるように、ご家庭と連携しながら取り組んでいきます。

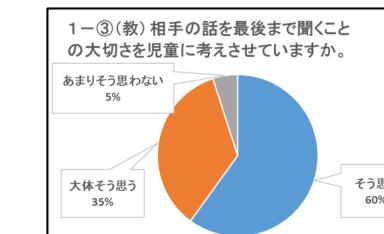
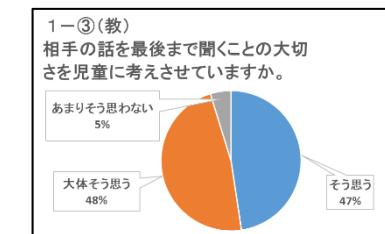
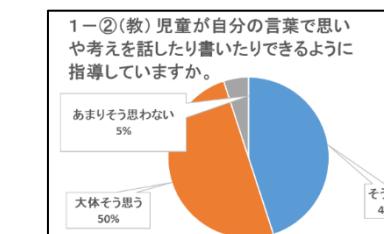
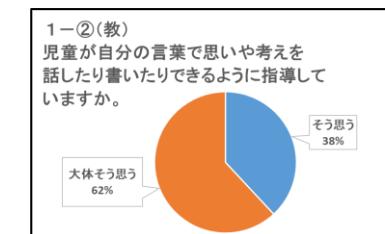
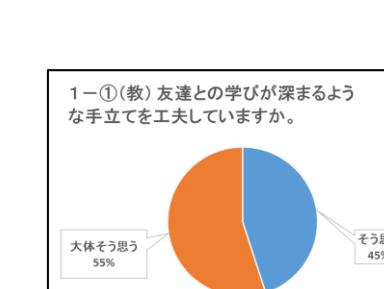
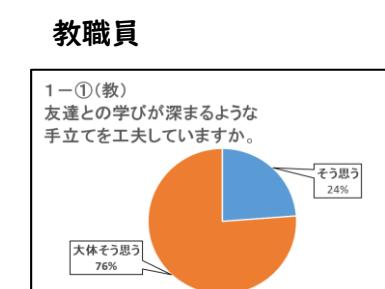
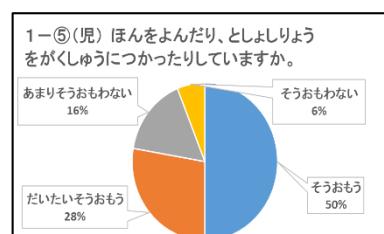
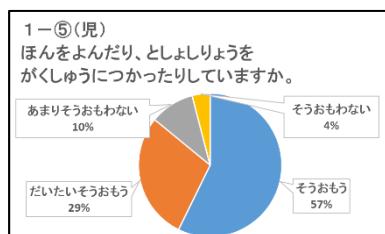
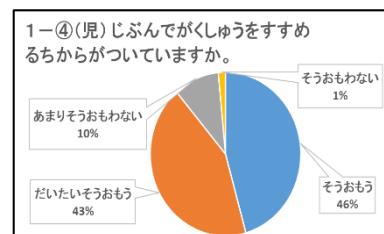
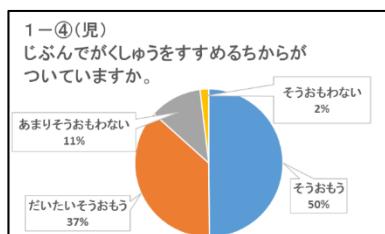
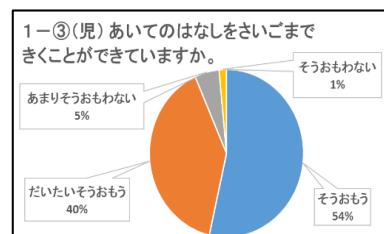
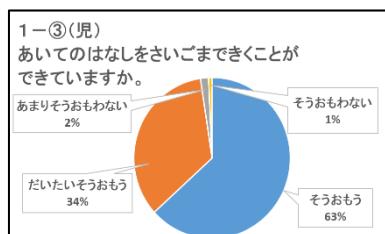
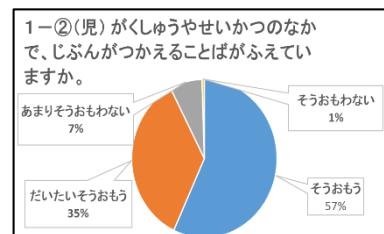
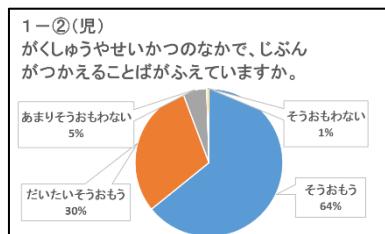
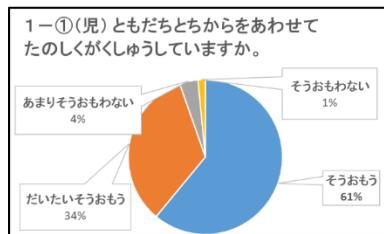
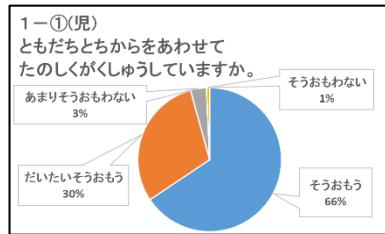
＜参考＞全アンケート結果一覧

左側が前期 右側が後期の結果になっています。

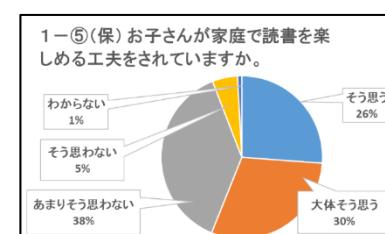
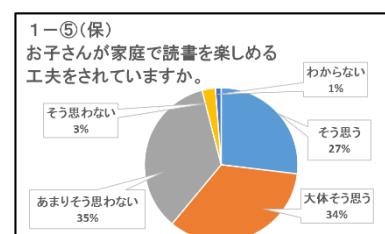
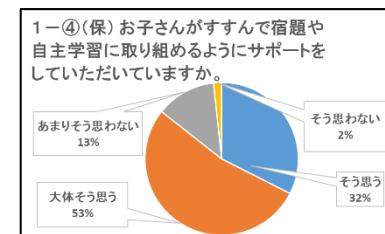
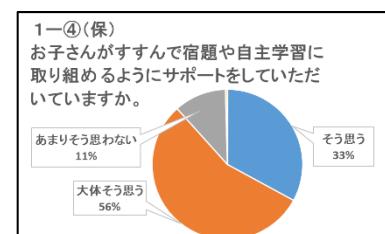
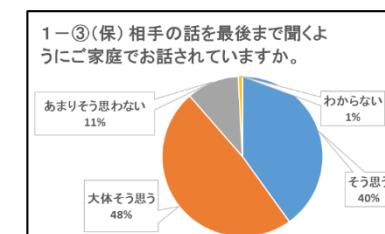
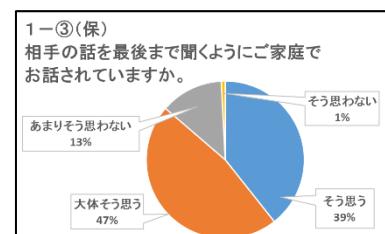
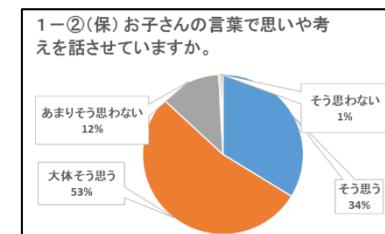
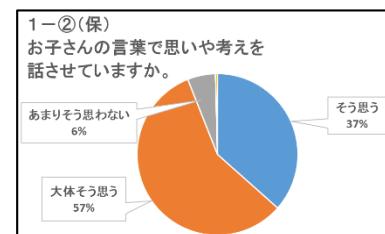
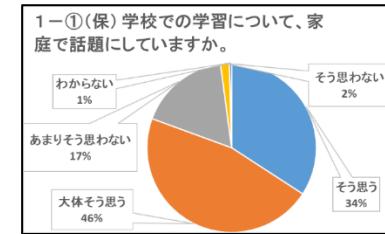
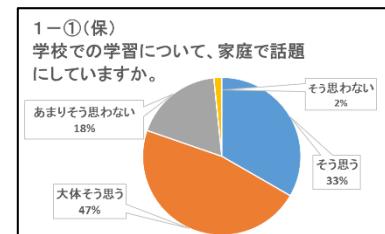
1. 「確かな学力」の育成に向けて

重点目標 学ぼうとする意欲や学びを友だちと共有する力を身につけさせ、学力向上につなげる。

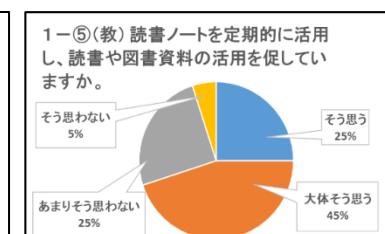
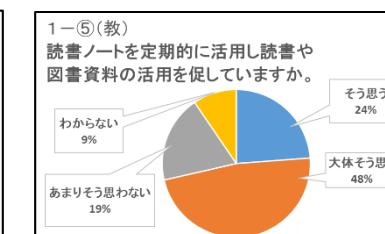
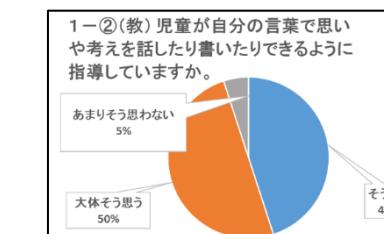
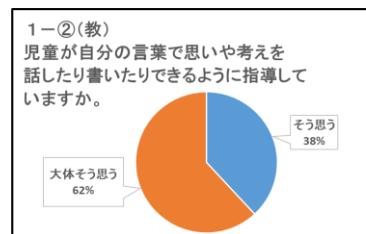
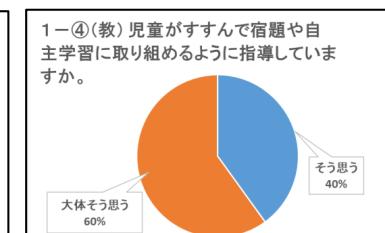
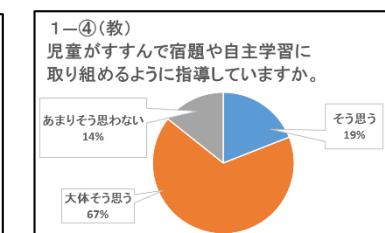
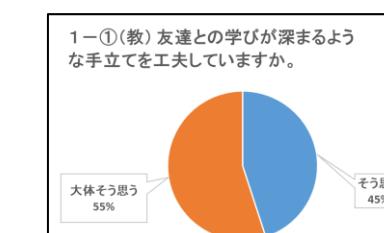
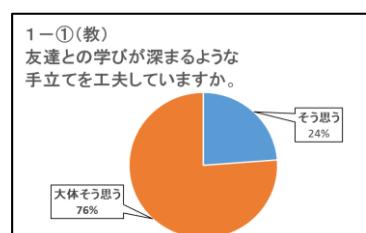
児童



保護者



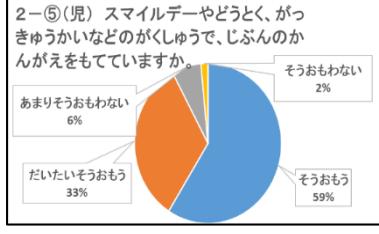
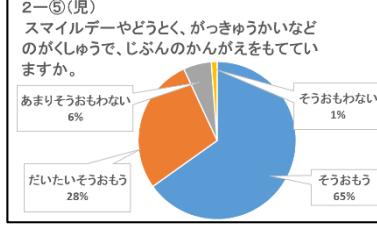
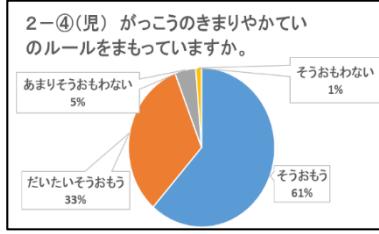
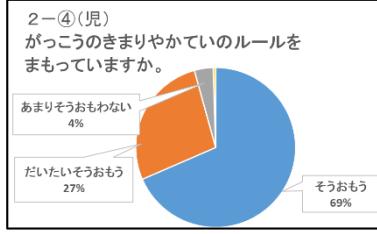
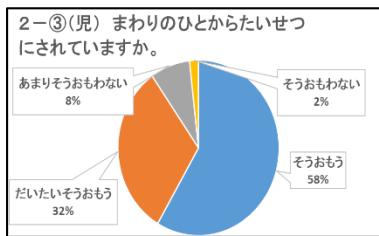
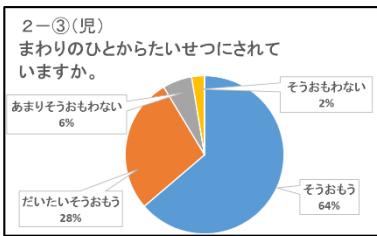
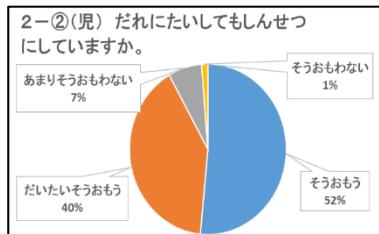
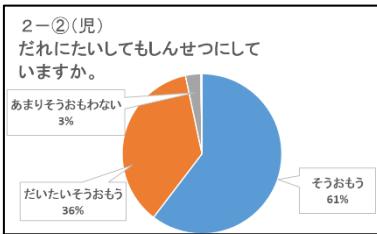
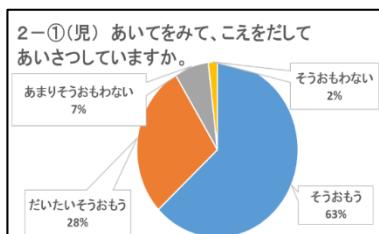
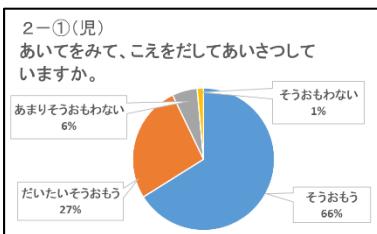
教職員



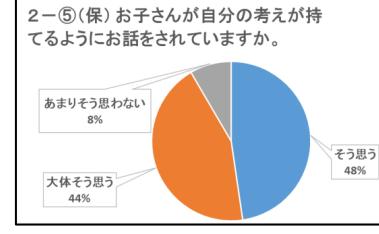
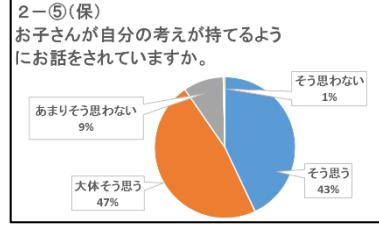
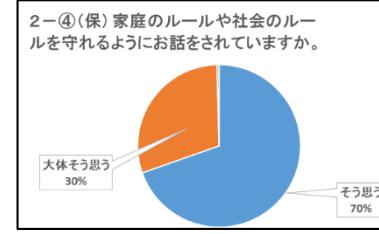
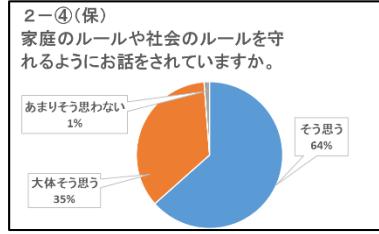
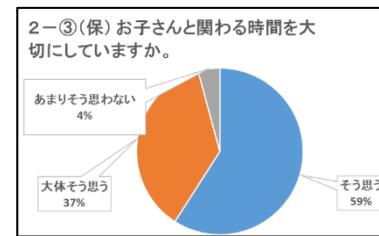
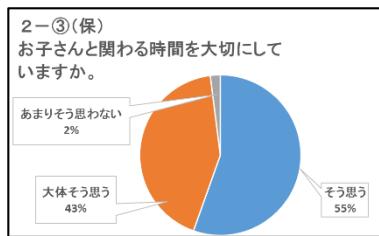
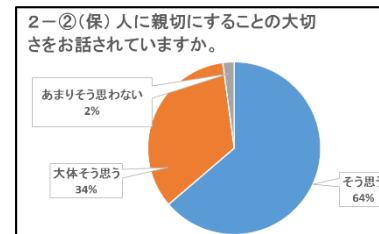
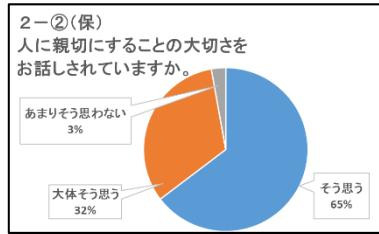
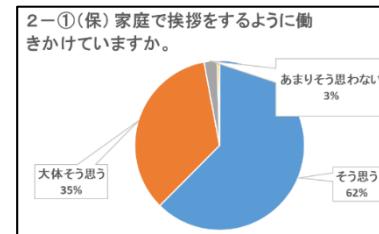
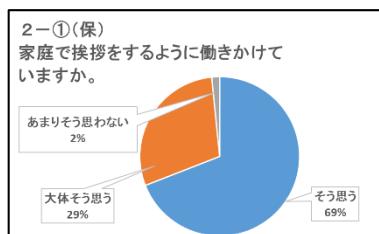
2. 「豊かな心」の育成に向けて

重点目標 規範意識の育成や道徳教育の充実を図り、支え合い高め合う集団をつくる。

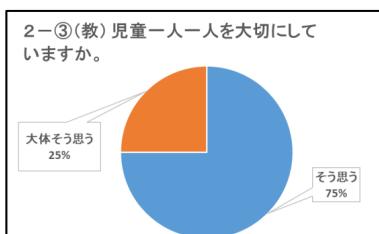
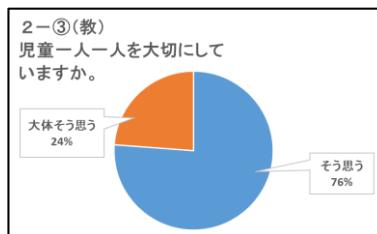
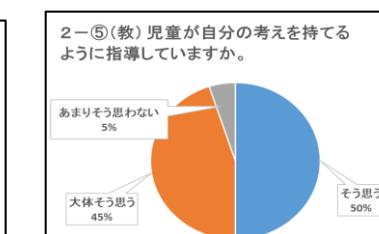
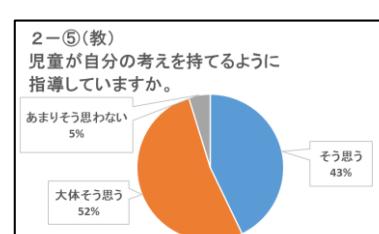
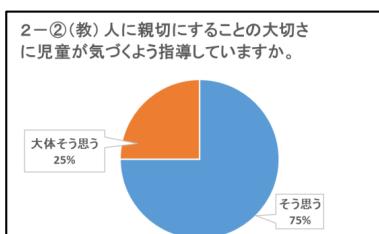
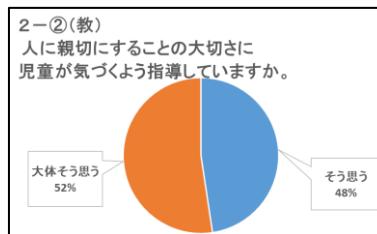
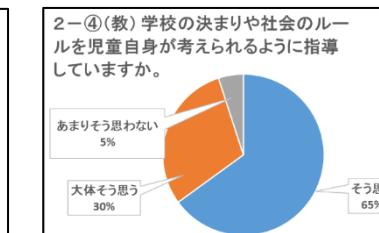
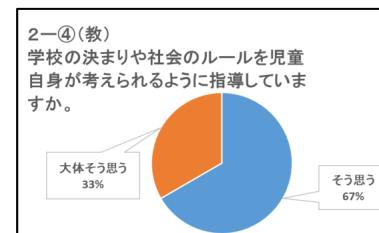
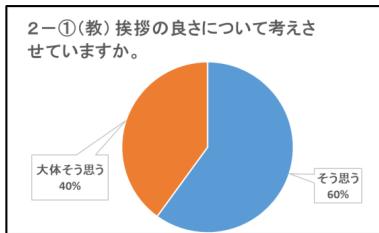
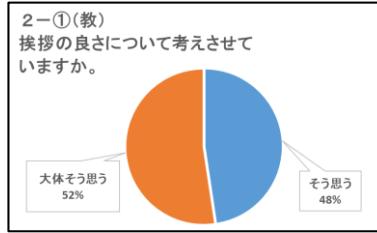
児童



保護者



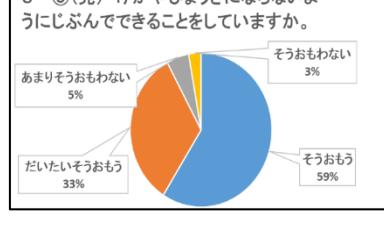
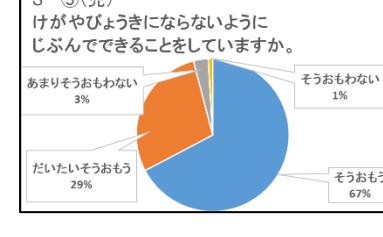
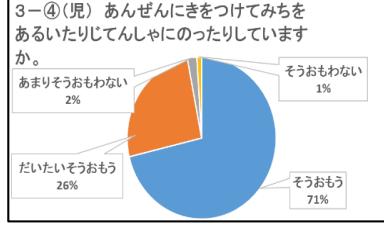
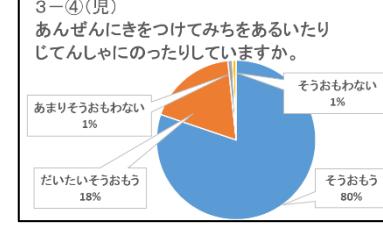
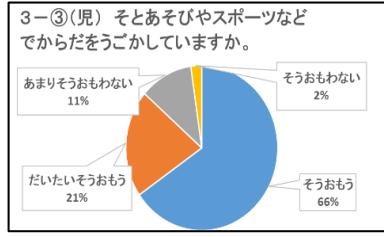
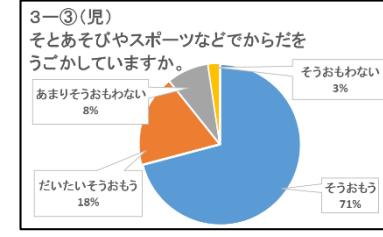
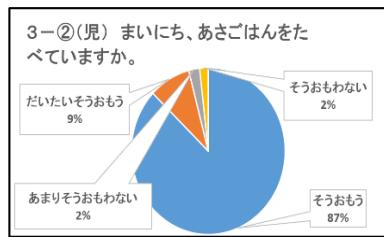
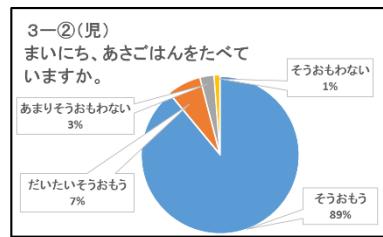
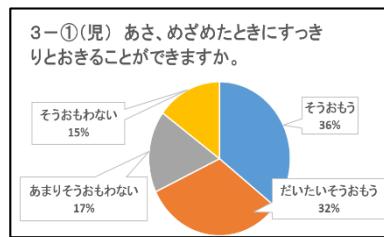
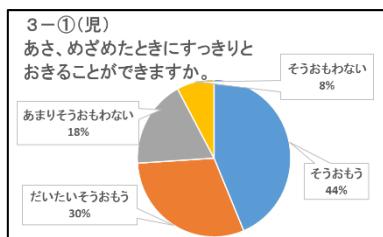
教職員



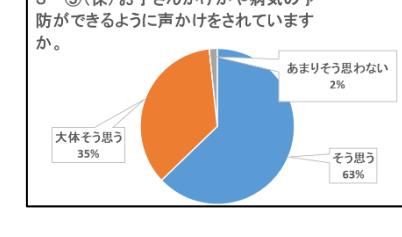
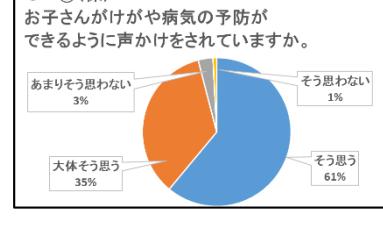
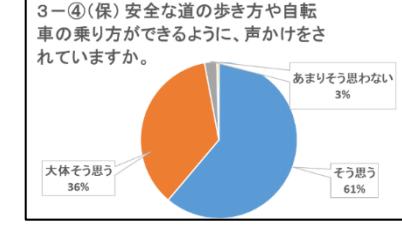
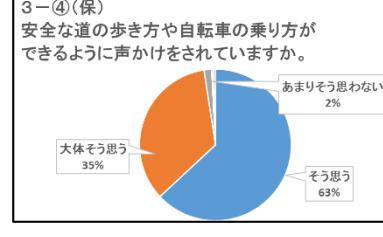
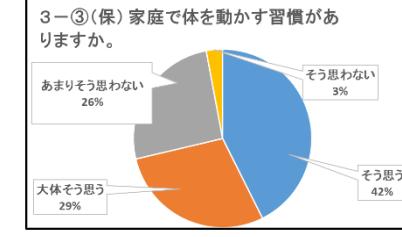
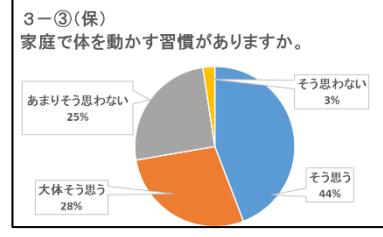
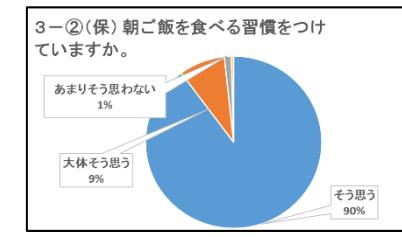
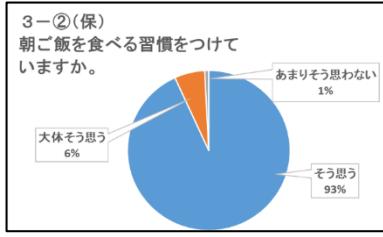
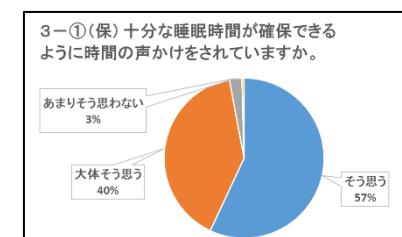
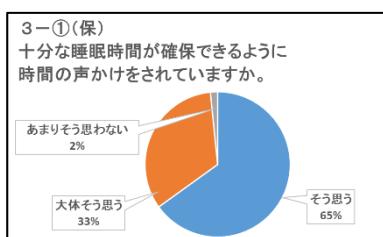
3. 「健やかな体」の育成に向けて

重点目標 運動の実践と体力の向上を図りながら、安全で健康的な生活を送る子を育成する。

児童



保護者



教職員

